

自分ですすめる『学びの一歩』(A3に拡大して使用)

中1社会『世界と日本の諸地域』 第2章 日本の姿(教科書 P.120~131) 名前()

「日本はどのような姿をしているのだろうか?」目標:日本の地域構成の特色をさぐりながら、日本の全体像を大きくとらえることができる。

ステップ1(学習の進め方)

- 教科書124ページと地図帳175~176ページを活用して、日本の端の島の位置を確かめよう。

☆緯度と経度について分からないときは、教科書P.20で確かめよう!

- 教科書120ページや地図帳1~3ページを活用して、世界の中での日本の位置を確かめよう。

- 教科書122~123ページや地図帳1~3ページをもとに、時差について調べて、理解しよう。

☆日本の時刻(標準時)と同じ地域を「等時帯」の地図から探そう!

- 「等時帯」の地図(地図帳P.1~2③,教科書P.123⑥)などを活用して、世界の中での日本の位置を時差でとらえよう。

ステップ2(自分でやってみよう)

1. 日本の東西南北それぞれ端に位置する島の名前と都道府県名、緯度や経度を調べて、それぞれの位置を地図上で確かめよう。 技

- ①日本の西端[島(　　県)](経度)
- ②北端[(　　)](緯度)
- ③東端[(　　)](経度)
- ④南端[(　　)](緯度)

2. 日本の陸地の範囲はどこからどこまでか、緯度と経度で表そう。 知

- ☆日本の陸地は緯度で表すと(北緯　　から　　)の範囲に、
☆経度で表すと(東経　　から　　)の範囲に位置している。

3. 日本と同じ緯度の国を見つけ、その国名を書き出そう。(P120 地図③黄色の範囲) 技

- ☆同緯度の国(　　)

4. 日本と同じ経度の国を見つけ、その国名を書き出そう。(P120 地図③水色の範囲) 技

- ☆同経度の国(　　)

5. P122③「北極から見た地球」からロンドンとニューヨークの時間を調べよう。 技

- ☆日本が1月1日午前9時のとき、　　日本より(どちらかに○をする)

・イギリスのロンドンでは(　月　日　　時) → [　時間　早い・遅い]

・アメリカのニューヨークでは(　月　日　　時) → [　時間　早い・遅い]

6. どうして国や都市によって時間や日付が違うのだろう? 予想を立てて調べよう。

<自分の予想> 関

<調べてわかったこと・わからなかったこと> (スペースが足りなければノートなどに書こう)

この学習活動を通して、生徒に育成したい資質・能力を現行の4観点で例として示しています。

7. 日本や世界の時刻や日付はどのように決められているのかを調べよう。 技

- ☆日本の時刻(標準時)は、何を基準にして決められているのかな?

(　)

- ☆世界の基準となる時刻(標準時)は、何をもとに決められているのかな?

(　)

- ☆日付はどのように調節されているのかな?

(　)

8. 「等時帯」の地図から日本と各都市との時差を探り出し、表を完成させよう。 思

おもな都市	日本との時差	日本の現在時刻	月	日	午	時	分
中国のペキン	時間	ペキンでは	月	日	午	時	分
ロシアのモスクワ	時間	モスクワでは	月	日	午	時	分
アルゼンチンのブエノスアイレス	時間	ブエノスアイレスでは	月	日	午	時	分

ステップ1(学習の進め方)

・教科書 124~125 ページと地図帳 175~176 ページをもとに、日本の範囲(領域)について確かめよう。

・「排他的経済水域」とはどのような範囲かを理解するために、教科書 125 ページや地図帳 175~176 ページをもとに調べよう。

☆排他的経済水域から見た日本の姿の特色を見つけ出そう!

これらの国まわりはどうなっている?
このような国を何といったかな?

・地図帳 176 ページの地図で日本の位置と範囲を大きくとらえよう。

・教科書 126~127 から日本の領土をめぐる問題について調べよう。

☆島の位置を地図で確かめ、歴史的な視点でも調べてみよう!

ステップ2(自分でやってみよう)

9. 日本の国の範囲を示すために必要な知識を整理しよう。

次の範囲の言い方やその範囲について調べて()に書き出そう。

☆一つの国の範囲=() ☆陸地の範囲=()

☆海の範囲=() その国の範囲はどこまで? []

☆空の範囲=() その国の範囲はどこまで? []

10. 排他的経済水域とは、どのような範囲でどんな権利が認められるか調べよう。

11. 教科書 P.127⑦「主な国の排他的経済水域の面積」から情報を読み取ろう。

①排他的経済水域の面積(水色)が国土面積(オレンジ色)よりも広い国を [技] 読み取り、その国名を書こう。()

②その国的位置を地図帳 P.1~3 で確かめ、共通する点を見つけ出そう。

[共通点:]

③次の文章を完成させ、日本の排他的経済水域の特色を見つけ出そう。

日本の国土面積()万km²に対して、排他的経済水域の面積は()万km²で国土面積の約()倍以上の広さにもなる。

12. 日本の排他的経済水域の範囲を指でなぞりながら、その広さを確かめるとともに、日本の陸地(島)=領土の広がりとの関係で気付いたことをメモしよう。 [思]

13. 日本国の領土でありながら、隣国と課題がある地域を調べよう。

日本固有の領土(島名)	現在の状況

ステップ3(学びを生かしてチャレンジ!)

13. 沖ノ鳥島の位置を地図帳 P.176 で確かめ、島が沈めばどうなるか? 何ができなくなるか? 考えてみよう。 [思]

14. 「どうして、日本は国土面積に対して排他的経済水域の面積の方がとても広いのだろう?」この日本の特色について、ここまで学習したことをもとに、その理由を自分なりに考えてみよう。 [思]

15. 「日本はどのような姿をしているのだろうか?」日本の位置や範囲について、自分なりの言葉で説明しよう。 [知]

レビュー（小学校の復習にチャレンジ！）

16. 教科書 P.128 の「やってみよう」に取り組み、日本の都道府県名と県庁所在地名を復習しよう。

1)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑯	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟
㉞	㉟	㉟	㉟	㉟	㉟	㉟
㉞	㉟	㉟	㉟	㉟	㉟	㉟

2)

①	③	④	⑧	⑨	⑩	⑪
⑯	⑯	㉓	㉔	㉕	㉘	㉟
㉞	㉟	㉟				

17. 教科書 P.128 の①～㉗の都道府県をいくつかの地方に区分したとき、それぞれの地方名を復習しよう。

地図帳 P.174、教科書 P.130 を参考にしよう。

⑯ (地方)	②～⑦ (地方)
⑯～㉓ (地方)	㉔～㉚ (地方)
㉞～㉞ (地方)	㉟～㉗ (地方)

ジャンプ（さらに学習を進められる人は、発展課題にチャレンジ！）

<発展課題>

- 1) P.123 「技能をみがく16」 時差の求め方 「やってみよう」に取り組んでみよう。
- 2) P.127 「技能をみがく17」 日本の略地図のかき方 「やってみよう」に取り組んでみよう。
- 3) 日本の略地図をかいて、日本の主な島々の形状や日本の東西南北の端の島などの位置関係がわかるように、日本の地域構成や全体像について学習したことを整理しながらまとめてみよう。

*このワークシートでは紙面の関係上、地図が示されていないため、常に地図や地球儀などで位置関係をとらえながら学習を進めていくようにしましょう。